

# 広がるツムラ進出

～(株)ツムラが用地を追加取得～

令和8年2月27日の上毛新聞で、漢方薬メーカー国内最大手の「ツムラ」が漢方薬の生産工場を新設する明和東部工業団地の事業用地を追加で取得すると発表した記事が掲載されました。



【(株)ツムラ 杉井 COO(最高執行責任者)と私】

## 【15.7ha の広大な工場敷地面積】

令和6年12月19日、「ツムラ」が明和町の東部工業団地に進出すると上毛新聞のトップで報じられました(第133回コラムにて掲載)。その時の事業用地買付面積は約7.9ha(約23,900坪)でしたが、今回、邑楽用水の南側約7.8ha(約23,600坪)についても工場用地として買い増しをしていただきました。

今回の工場用地の追加取得にあたり、(株)ツムラの杉井COO(最高執行責任者)が明和町を訪れ、現地を視察されました。そして、3年後の業務開始を見据え、役場会議室において今後の受け入れ体制や雇用体制、住宅事情等に関する明和町の考え方について意見交換を行いました。



【受け入れ体制や雇用体制、住宅事情等を説明】

## 【4月から工場建設準備室社員常駐】

さらに、「ツムラ」では2026年4月から工場建設準備のための社員を川俣駅東口の元武田薬局跡を改修した施設に常駐させる予定です。これにより、工場建設に向けた準備が本格的に進んでまいります



【整備が進む(株)ツムラ工場建設準備室】

今回の追加事業用地は、将来的な機能拡張を見据えたものであり、現時点では用途は明らかにされていません。

それでもなお、「ツムラ」という企業がこの明和町を選んでくださり、さらに歩みを進めていることに、大きな喜びと期待を感じております。

令和8年3月30日

明和町長 富塚もとすけ